

再生可能エネルギー2010国際会議

再生可能エネルギーを一同に会したわが国唯一の国際会議(展示会併設)、先端先進技術に焦点。



政策
Policy



太陽光発電
Photovoltaic



太陽熱利用
Solar Thermal
Utilization



省エネルギー建築
Low Energy
Architecture



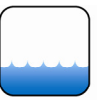
風力
Wind Energy



バイオマス
Biomass Utilization
& Conversion



水素・燃料電池
Hydrogen &
Fuel Cell



海洋エネルギー
Marine Energy



地熱エネルギー
Geothermal
Energy



新電力システム
Advanced Power
System



省エネルギー・熱利用
Heat Utilization &
Energy Efficiency



中小水力・非慣習エネルギー
Small Hydro &
Non-Conventional Energy



2010年6月27日(日)ー7月2日(金)

(展示会6月30日ー7月2日)

場所: パシフィコ横浜、横浜市

<http://www.re2010.org>

論文アブストラクト 11月30日締切り、ホームページから入力、
A4用紙2枚、HPにテンプレートあり。

- 国内外から1000件以上(目標)の論文発表 ●フル論文集を作成(A4用紙4枚)、参加登録者全員に配布
- 日本機械学会はじめわが国を代表する5,6の学会と覚書を交換、学会規定に沿い英文ジャーナルに掲載可
- 論文の流れ: アブスト提出ー>査読ー>本人通知ー>参加登録ー>フル論文提出ー>RE2010論文集
(11月30日) (2月) (~3月31日) (会期中6.27-7.2) (8月下旬)

”一般参加登録も開始しています”

バラエティに富んだプログラム

- ◆ 12分野にわたる1000件の論文発表(オーラル、ポスター)。海外からの発表300件(目標)
- ◆ 分野ごとの世界的有識者による招待講演(10月現在、16名確定)
- ◆ 国際再生可能エネルギー推進機関、IRENAのお披露目セッション(METI/NEDO主催)
- ◆ 第4回国際太陽エネルギー学会アジア太平洋国際会議を併行開催
- ◆ 第20回日本機械学会環境工学総合シンポジウム2010を併行開催
- ◆ オープニングデー(展示会開催、6月30日と合わせる)における国内外大臣もしくは大臣クラスによる講演
- ◆ AISTによるわが国最先端技術開発や研究の発表、NEDOによる国家支援プロジェクトの成果報告会
- ◆ 6月30日から3日間、新技術・新商品を一同に集めた国際展示会(50,000人の来場者予定)
- ◆ 京都大学、東京工業大学、慶応大学、東京大学など大学から発信するプロジェクトフォーラム
- ◆ 駐日外国大使館が主催するフォーラム。本国の大臣クラスが参加。 ◆ 横浜市が主催する市民フォーラム
- ◆ 1日テクニカルツアー(北杜市PV実証センター)や半日ツアー(地球シミュレーター・深海6500; 2.4MW風車)

主催 再生可能エネルギー2010国際会議組織委員会(委員長 柏木孝夫、東京工業大学教授)

共催 再生可能エネルギー協議会、国際太陽エネルギー学会、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、
(独)産業技術総合研究所、(財)新エネルギー財団、日本太陽エネルギー学会、日本風力エネルギー協会、
(財)名古屋産業科学研究所

後援 経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、内閣府、横浜市(予定を含む)

協賛 業界、学会、独立行政法人、財団法人など約70団体

連絡先 日本コンベンションサービス re2010.sec@re2010.org Tel 03-3508-1249 畠山

再生可能エネルギー協議会 council@renewableenergy.jp Tel 03-5294-3888 池田、西野